

じゅくこう

報恩講法要 厳修

四月二十日、二十一日の二日間にわたり、当山の報恩講法要をお勤めいたしました。報恩講とは浄土真宗を開かれた宗祖親鸞聖人のご恩を偲び、お聴聞を通して私が、仏法に出遇い、ご信心を確認させていただく法要です。一年間の中で一番大切にしている法要です。



昨年は親鸞聖人の御誕生八五〇年などの記念法要と併修をしましたので、純粋な報恩講はコロナ禍を挟むと久しぶりの開催です。また、お付き合いのご住職方がご出勤をいただけるようになったこと。ご参拝の中では仏教婦人会のお付き合いも再開された様子で、他寺院のご門徒さまもたくさんお参りをいただきました。賑やかに勤められましたこと嬉しく思います。

さて、ご講師には中西昌弘先生をお迎えしてご法話をいただきました。ご話題には「十方微塵世界の、念仏の衆生をみそなはし、撰取してすてざれば、阿弥陀」となづけられた「まつる」をいただきました。数限りないすべての世界の念仏するものを見通され、撰め取って決してお捨てにならないので、阿弥陀と申しあげる。という意味のご和讃で、仏説阿弥陀経のお心を親鸞聖人が詠まれました。

阿弥陀経の中ではお釈迦さまが弟子の舍利弗さんのお名を何度も呼びかけながら阿弥陀さまのお徳を伝えていかれます。合計三十八回「舍利弗」という名前が出てきますが、その内の三十六回は呼びかけておられます。ご法話の中で先生は、その名を自分の名前と置き換えて聞かせてもらうのです。私を自当として阿弥陀さまははたらいっておられるのですから、とお話しをいただきました。

第61号
(通算401号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

浄覚寺ヨガ教室

- ・5月15日(水)
10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

浄覚寺雅楽教室

- ・5月21日(火)
19時~20時半

お知らせ

六月二日(日)に「浄覚寺バザー」が開催されます。もったいないという気持ちを大切に、不要なものが必要な人の元に届くよう準備しております。

五月十二日(十三時~十六時)と十九日(十時~十六時)に遊休品の募集受付を本堂で行います。ご提供いただけますよう、ご協力をお願いいたします。もしご都合が合わなければご連絡いただければお伺いいたします。



一宗の繁昌と申すは、

人の多く集まり

威の大なる事にてはなく候、

一人なりとも人の信を取るが、

一宗の繁昌に候。

蓮如上人「御一代記開書」



御文章に聞く(第54回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

在家尼女房章(五帖第三通)
 それ、在家の尼女房たらん身は・なにのようもなく、一心一向に阿弥陀仏をふかしたのみまいらせて・後生たすけたまえと申さんひとをば、みなみな御たすけあるべしとおもいとりて・さらに、疑いのこころゆめゆめあるべからず、これすなわち・弥陀如来の御ちかいの・他力本願とは申すなり、このうえには・なお後生のたすからんこと・うれしさありがたさをおもわば、ただ南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏と・となうべきものなり、

あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。「在家の尼女房」とは、在家の女性信者のことです。「尼」とは本来は女

性の出家者のことですが、蓮如上人の時代には在家の女性信者をも「尼」と呼んでいたようです。また「女房」は単に女性をあらわすこともありましたが、妻をあらわす場合が多いようで、家庭生活で厳しい現実を生きる女性をあらわしている言葉です。

「なにのようもなく」とは、「特別なはたらきや、条件を必要としない」という意味ですが、女性を対象としたときには「五障・三従」という女性の成仏を妨げ、男性に対する従属を強いる、激しい差別を超えていく意味が含まれることになりました。

蓮如上人の時代のみならず、それ以前も、それ以後にも女性に対する差別意識が多くあり、蓮如上人のご教化には、その差別を超えてゆく心が込められているのであって、それこそが阿弥陀仏のご本願であるのです。

仏教語辞典



往生要集

地獄のイメージを定着させた書物。日本の僧である源信が寛和元(九八五)年に書いた。多くの経典から極楽往生に関する部分を抜粋したもの。地獄や六道の様子が詳細に書かれていて、これがベースになり、地獄絵が描かれたりするようになり、地獄のイメージが定着した。

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。春の時期は色々な法要や行事が開催されます。当山の報恩講の後は組内寺院で継職法要が勤まり、奏楽員として出仕させていただきました。新住職が挨拶で言われていました。これから住職として多くの方にお参りしてもらうことを目標にしようと思っていたが、前住職から「あなたが娘との結婚を縁として僧侶になり、ご法義を大切にして生きてくれるようになったこと、お寺の目標の一つを達成することができた」と聞き、気持ちが変わったとのこと。数が問題なのではなく、一人でもまことのご信心をいただけることがお寺の存在意義なのだ、私も再確認させていただきました。

・四月三十日、念願の雅楽教室をスタートすることができました。ゆつくりとしたペースで雅楽の楽器(笙・箏・龍笛)を練習していきたいと思えます。今年度に限り、年度途中からの参加もできますので、興味のある方はお寺までお問い合わせください。(釋法道)

行事案内

日時・五月十一日(土) 十二時より
 行事・河内蓮如忌法要 参拝
 場所・久宝寺御坊 顕証寺
 (なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)
 顕証寺までのご法要です。ぜひご参拝させていただきます。

日時・六月二日(日) 十二時〜十六時
 行事・浄覚寺バザー
 場所・浄覚寺 境内
 掘り出し物がたくさんあるバザーに加え、仏事相談コーナーや、限定五十食の手打ちそば、コーヒー・ジュースの無料接待、お子さまのためのお楽しみコーナーも用意しています。